

「耳鼻科と小児科」 受診する科を迷ったら…



医療法人ファースト

KUSANO ENT and PEDIATRIC CLINIC

くさの耳鼻咽喉科・小児科



耳鼻咽喉科 受診がおすすめ



耳の症状

鼓膜所見をできるだけ撮影するようになっています。写真をお示しすることができ、正確に治療経過の確認ができます。

耳あかを取ることができます。

中耳炎のときに鼓膜切開をしたり鼓膜換気チューブを留置したりといった処置を行うことができます。

鼻の症状

鼻の奥の鼻水を吸い取ったり、腫れを和らげる薬を噴霧したりすることができます。

症状がひどいときは、レントゲンを撮影したり、内視鏡で鼻のなかをみることができます。

のどの症状

のどの症状がひどいときに必要であれば、内視鏡でみることができます。痰や咳がとくにひどいときは小児科受診がいいでしょう。

小児科 受診がおすすめ



1歳未満の乳児

鼻の症状だけのようにみえても、気管支炎や喘息を合併していることもあります。小児科の受診をおすすめします。

咳の症状

聴診器で胸の音を聞くことができます。気管支炎やぜんそくの判断ができます。

熱の症状

発熱の原因となる感染症について全身の診察ができます。必要な時は迅速検査や血液検査を行います。

おなかの症状

聴診器でおなかの音を聴いたり触ったりすることができます。

皮膚の症状 アレルギー

アトピー性皮膚炎や気管支喘息、食物アレルギーなどを、長期的に管理・治療できます。皮膚の病気の治療も行えます。

先に受診した科で、2科での診察が必要と判断したとき院内で相互に紹介し、一緒に診察をすすめていきます